

別添（議事録様式）

令和4年度志木市立宗岡小学校 第1回 学校運営協議会議事録

1 開催日時 令和4年5月10日（火） 10:30～12:30

2 場 所 志木市立宗岡小学校 多目的室

3 出席者

津田 美奈	若杉 一輝	大熊 克範	西川 和男
石井 英男	鈴木 恵美	田中 直広	田村 成彦
田中 直樹	小木曾 久美子		

【事務局 吉澤 めぐみ 記録 吉澤 めぐみ】（計 10 名）

4 協議内容

(1) 会長・副会長選出

- ・会長は津田美奈氏
- ・副会長は委員長の推薦により若杉一輝氏を選出
- ・学校運営委員会にて承認
（副会長は現職の本校 PTA 会長を会長が推薦、その後承認）
→選出方法については R4 年度学校運営委員会において承認済み
→規約にも追記

(2) 会長・副会長あいさつ

- ・会長 学校の様子をオープンにできる委員会にしたい
- ・副会長 安全・防災に関することについて知恵を出していきたい。教育に関しては学校に任せていきたい。

(3) 宗岡小学校学校運営協議会規約 承認

- ・学校運営協議会委員の確認
- ・規約内容について、昨年度と表立った変更はない

(4) 令和4年度学校経営方針

- ・基本理念
- ・学校目標 知・徳・体から目標を定めた。
よく考え主体的に行動できる子を育成し、他者を思いやる気持ちを大切にさせたい。まずはあいさつ、返事について重点的に取り組みたい。心も体も元気な子、コロナに負けない体力作りする。
- ・目指す学校像
不登校傾向の児童が増えている。子供たちに居場所をつくり、一人一人が輝ける場をつくる教育環境作りを目指す。
- ・確かな学力を身に付けさせる指導工夫改善を行う。
- ・校内研修で「豊かに表現する児童の育成」をめざし、自分の考えを堂々と表現できる児童にする。

- ・ICTの活用としてタブレットを持ち帰り家庭でも有効的に課題や宿題を行ったりオンラインで授業を行ったりできるように工夫している。

【協議】

- (会長) 昨年度の学級経営方針から、今年度、手を加えた点について説明いただきたい
- (校長) あいさつ返事がしっかりできることを重点にしている。児童に対してはもちろんのこと職員にも繰り返し伝えている。
- (田村) 教師という立場から「圧力的な接し方をしている教師がいる」という話がある子供に対して言う言葉ではないものを使っている教師がいるのでご注意ください。
- (校長) 全体的に教職員は比較的丁寧な言葉遣いをしている。子供は教師の鏡であるので、教師の言葉遣いが児童に影響することを踏まえるよう、職員にも話している。常に冷静を保ち、熱が入りすぎないようにしたい。
- (会長) 具体的なケースがあれば管理職も教職員への指導がしやすい。ぜひ、そのような話があがったら、具体的な情報を学校に伝えてほしい。
- (田村) 今後も事実確認をするためにも情報をあげていきたい。
- (石井) この案件は受けた本人からなのか、周りで見えていた他者なのか十分精査しないといけない。
- (会長) 地域の方からも声が上がったら学校へ伝えてほしい。
- (田村) 基本的には学校では先生のまねをすることもあるが、究極は家庭の問題でもある。
- (田中) 当たり前前にできることを当たり前前にできない。児童の行動に思い余っての教師の言動かもしれない。学校運営委員会に情報をあげ検討していくことが大切である。
- (西川) 不登校児童は増えているか。
- (校長) 昨年度と比べ、大きな変化はない。深刻な不登校もない。
- (会長) 子供自身の問題もあるが、家庭での問題もある。小学生でも高学年にしたがって増えている。
- (石井) 学校に来る、来ないよりも、問題のある家庭の児童が不登校の場合、家に置いていかなければならないケースも考えられる。そういう児童の確認、ケアをしたい。兄弟で片方が行かない家庭へのフォローを学校でもしてほしい。
- (西川) 施設機関との連携が大切だと考える。
- (田中) 学校に来ることがすべて正しい訳ではなく、不登校児童に対してどのようにフォローができるかが必要である。
- (田村) 小中一貫の説明を保護者に早くすべき。令和7年度まであまり時間がない。
- (田中) 小中一貫は初見であり、メリットがわからない。メリットデメリットを含め説明がほしい。
- (会長) 本年度より、教育委員会ではプロジェクトチームが組まれている。
- (石井) 小中一貫教育と言われているが、共通の教育がなされているのか、9年間の到達点が高くなるのか、地域によってちがうのはどうなのか
- (田村) 中学校の自由選択があり宗二中の男女比が悪い。小中一貫であれば、自由選択制も考えていくべき。

- (会長) 宗二中は志木市のはじの方にある。特別支援学級の児童は昨年度は宗中に全員が行った。この場では、皆さんにすごく討論をしていただき市教委に届いているのか。
- (田中) 地理的な問題で人数が変わるのは仕方がないが、本人が何をしたいという目的があって中学校を選ぶようになってほしい。
- (田村) あいさつについて 本校の児童が交通指導員さんにもあいさつをしていない。保護者にもしない。知らない人にあいさつをしないという習慣もなるようだが、あいさつはできるようにしてほしい。あいさつをし続けることが大切。
- (校長) 校内ではできるが、校外でもできるようにしたい。きちんと目を合わせて行きたい。
- (大熊) 先日、道で会った高校生一人一人があいさつをしていた。お世話になっている交通指導員さんにあいさつができていない。不審者ではないときはできるようにしたい。
- (田村) 確かにあいさつは課題。
- (若杉) 大人がしていない。
- (大熊) 親もしていない。
- (若杉) 世の中の流れを見ていると、これからの時代はあいさつできる人が増えると思います。
- (田中) あいさつは根気強くやり続けるしかない。
- (会長) コロナ前はコミュニティスクールで小中が交流してあいさつ運動をしていたときもあったが現状だと難しい。

(5) 組織編成（教職員配置）

栄養士の配置がなかった6月から栄養士が入ることになった。

(6) 教育課程

(7) 学級配置

(8) 令和4年度学校予算

予算について

飛沫防止ガードは購入しないのか。

補助金の活用をすることができる。20万ほどの申請ができる

申請をすると報告書が多くあるのでバランスを見ながら行いたい。

田んぼがなくなったが、水田はどうなったのか。

(9) 宗岡第二中学校区コミュニティスクール

(10) 小中一貫に向けての取組

- (田村) ギャップを埋めるために教科担任制など宗三小と宗小がすりあわせていく内容がわかれば良い。

(会長) 具体的にわかっていると保護者にもわかりやすい。市長が言っているので、そこにたどりつかなければならない。

(田村) 教員の負担増である。

(会長) 学校のゴールが決まっているのでそこに向かうしかない。志木市は全校にコミュニティスクールがあるので、恵まれている。地理的にめぐまれているところは取り組みやすい。

(田中) 英語専科の先生が授業に入るのはよい。
学校に児童が携帯をもってきてもよいと思うが、制限するという議論はなくてよいのではないか。ICTも制限されることになる。

(田村) タブレット端末を教員全員に渡してほしい。

6 連絡事項

7 次回の開催日程

日程：令和4年7月7日（木） 10：30～

場所：志木市立宗岡小学校 多目的室